

専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱

I 座学編 33時間以上

1) 総論 (5.5時間以上)

キーワード

解剖、生理、発症機序、病態、腫瘍学

講義項目

1. 解剖学
2. 生理学
3. 脈管学
4. リンパ浮腫概論(発症機序、発症の要因)

2) 各論

●臨床—理論(8時間以上)

キーワード

乳腺、子宮・子宮附属器、泌尿・生殖器、下部消化管、循環器、頭頸部領域の悪性腫瘍、整形外科領域術後、小児科領域のリンパ系疾患、原発性(一次性)リンパ浮腫、続発性(二次性)リンパ浮腫、外科的治療、化学療法の影響、放射線治療の影響、緩和ケア、精神・心理的ケア、チーム医療

講義項目

1. 治療理論と臨床(頭頸部、整形外科領域、皮膚科領域などの術後を含む)
2. 乳腺科領域
3. 婦人科領域
4. 泌尿器科領域
5. 小児科領域
6. 消化器科(下部消化管)領域
7. 循環器科領域
8. 緩和医療科領域
9. 心療内科領域、精神腫瘍科(サイコオンコロジー)領域
10. 放射線治療科領域
11. 形成外科領域

●臨床—実地(19.5時間以上)

【診断・評価(4.5時間以上)】

キーワード

症状、所見、診断法、病期、鑑別診断、合併症、蜂窩織炎、肥満

講義項目

1. 診断方法、画像、周径測定(実習を含む)、肥満の評価
2. リンパ浮腫の発症機序と鑑別診断
3. 症状、病期、合併症
4. ケーススタディ

【予防・治療、患者指導 (15時間以上)】

キーワード

リンパ浮腫指導管理、適応・禁忌、治療選択肢、複合的治療(複合的理学療法を中心とする保存的治療)、圧迫療法(弾性着衣・包帯)、多層包帯法(MLLB)、用手的リンパドレナージ(MLD)、運動療法、セルフケア指導、シンプルリンパドレナージ(SLD)、体重管理、スキンケア、複合的治療以外の治療方法、EBM(Evidence-based Medicine)、診療ガイドライン、衣料品・靴

講義項目

1. リンパ浮腫指導管理
2. 治療選択肢
3. スキンケア・フットケア
4. 運動療法
5. セルフケア指導(予防のための日常生活上の注意、SLDの位置づけを含む)
6. 治療の適応・禁忌
7. ロールプレイ(セルフケア指導、弾性着衣の選択・装着指導など)

8. グループワーク(患者指導のレジメ作成など)
9. 診療の実際(入院加療の可能な施設と外来診療のみの施設の相違など)
10. 弾性着衣・包帯の選び方(製品紹介を含む)
11. 診療ガイドラインとEBM

到達目標

1. リンパ浮腫の成因を理解するために解剖学的構造を記述する。
2. リンパ浮腫の成因を理解するために生理学的機能を記述する。
3. リンパ浮腫の病態生理を理解するためにその成因を分類(識別)する。
4. がん治療に伴うリンパ浮腫の病態を理解するために原疾患の基礎知識とその治療がもたらすリンパ浮腫のリスクを関係づける。
5. 緩和ケア領域におけるリンパ浮腫の特殊性を理解し病態に応じて対処方法を選択する。
6. リンパ浮腫の理学所見による診断方法を修得するために病期を分類、比較する。
7. リンパ浮腫の症状と病期の特徴を修得するために適切な診断方法を適用するとともに鑑別すべき疾患との相違を対比する。
8. リンパ浮腫の合併症を認識するために症状や所見を具体的に述べ、それぞれに最適な対処法を適用、実施する。
9. リンパ浮腫の治療選択肢を修得するために各治療理論の特徴を比較、実施する。
10. リンパ浮腫治療の適応と禁忌について修得するために個々の病態を調べ最適な対処法を適用、実施する。
11. リンパ浮腫に対する複合的治療(複合的理学療法を中心とする保存的治療)の実践ならびに患者指導の方法を修得するために各病期における治療管理方針と指導内容を模擬患者もしくは実際の患者とコミュニケーションすることによって実施する。
12. セルフケアの具体的方法とその指導方法を修得するために模擬患者を通じて指導を実施し、学習者同士が評価、討議する。
13. 患者に対する指導や治療の効果を実感するために、模範的な指導や治療の提示に参加することによってその効果を評価するとともに、多くの患者の治療経過を通じて前後を対比する。
14. 発症前の症例に対する適正なリンパ浮腫指導管理を修得するために模擬患者に実施する様子を相互に示しながらその方法や効果を評価する。

II 実習編67時間以上(実技試験10時間を含む)

実技項目

1. 弾性着衣オーダーのための採寸(3時間以上)
2. 多層包帯法(MLLB)(30時間以上)
3. 用手的リンパドレナージ(MLD)(28時間以上)
4. 臨床実習(6時間以上)

キーワード

弾性着衣のオーダー採寸、MLLB、セルフバンデージ、MLD、SLD

学習目標

1. 既成の弾性着衣が着用困難な症例にオーダーの着衣を作成する方法を修得するために適正な採寸の実習を行う。
2. MLLBを修得するためにさまざまな包帯法を熟練し、再現性が得られるまで繰り返し行う。
3. MLLBによる治療が長期にわたる症例に対してセルフバンデージの指導方法を身に着けるために、グループで指導方法を討議しつつ繰り返し実施する。
4. MLDを修得するためにさまざまなドレナージの方法を熟練し、再現性が得られるまで繰り返し行う。
5. SLDの指導方法を身に着けるために、グループで指導方法を討議しつつ繰り返し実施する(※SLDの適否は十分に考慮、判定したうえで行うことが望ましい)。

厚生労働省後援事業 新リンパ浮腫研修
リンパ浮腫研修運営委員会

付則 本要綱は 2011年 6月 1日から施行する。
改定 2016年2月16日 一部改定